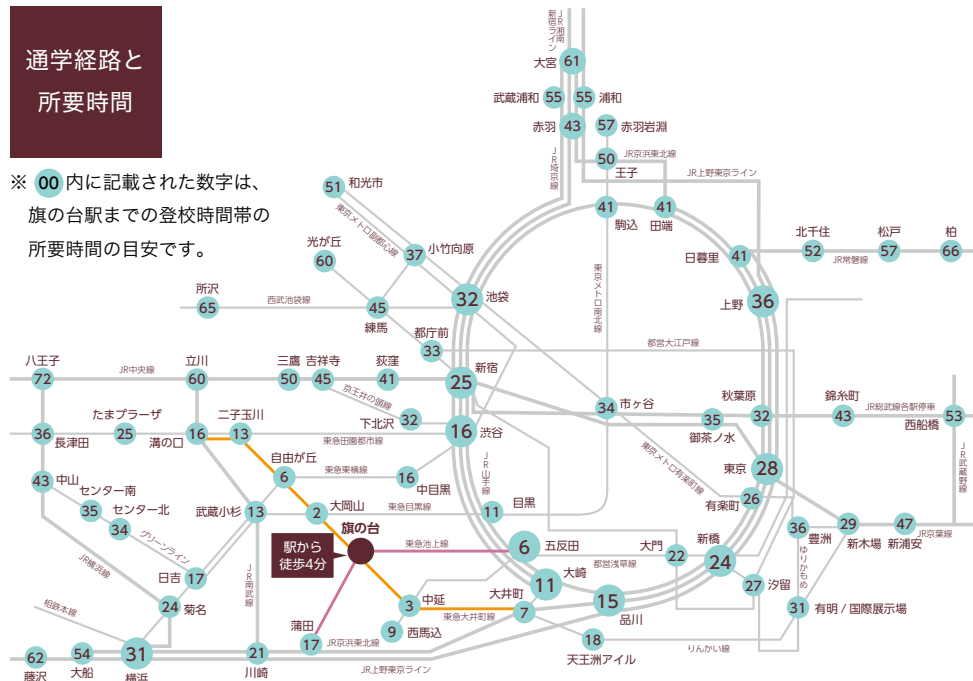


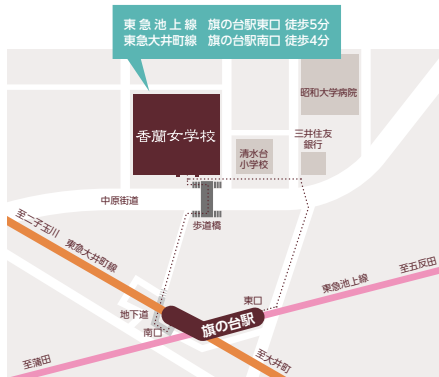
通学経路と 所要時間

※ 00 内に記載された数字は、
旗の台駅までの登校時間帯の
所要時間の目安です。



〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-21
Tel:03-3786-1136

<https://www.koran.ed.jp/>



St. Hilda's School
香蘭女学校
中等科・高等科



香蘭女学校の教育理念



いの 祈りのうちに 自らを 育む
Lord, make me an instrument of Your peace.
～主よ、私をあなたの平和の器にしてください～

かお 薫りをはなて とりどりに
一人ひとりが『賜物』を磨き、しなやかに生きる

『いのち』に寄り添い、慈しむ
深い思いやりを覚え、他者とともに生きる

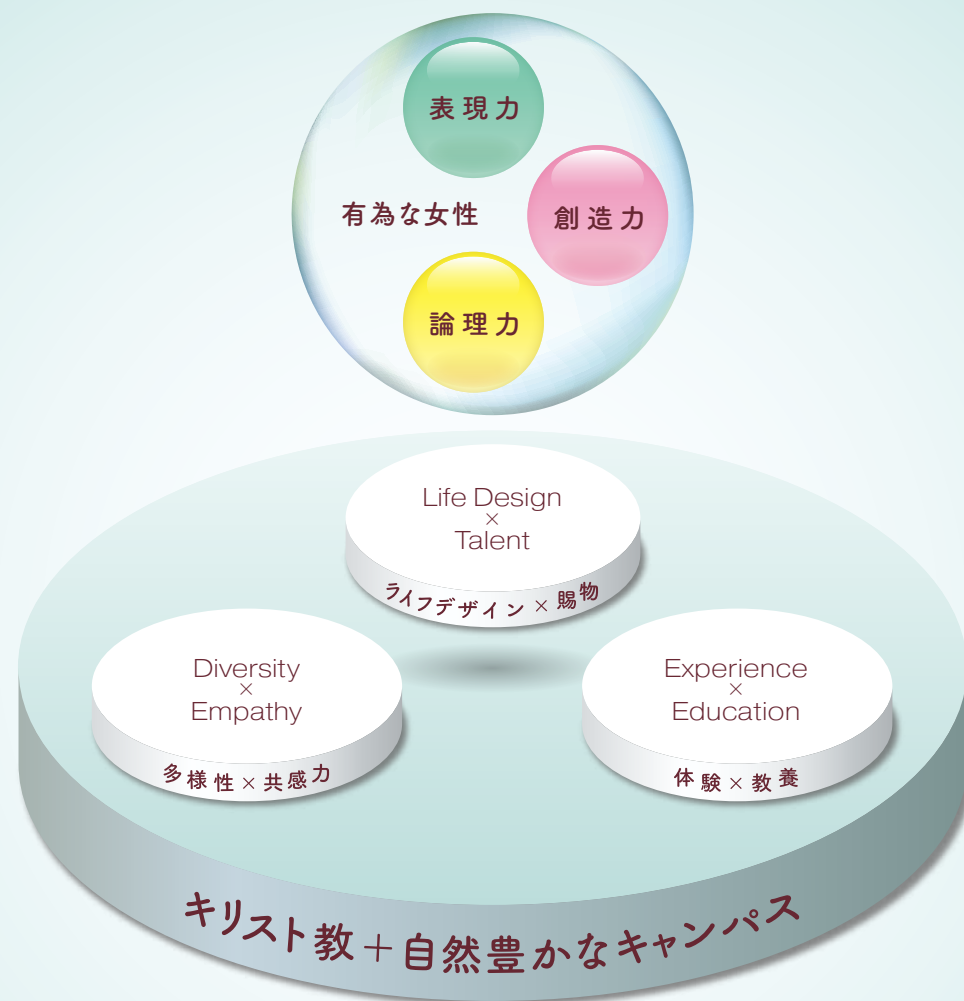
Contents

- 2 香蘭女学校の教育理念
- 3 香蘭女学校の教育
- 4 香蘭の四季
- 5・6 心を落ち着かせ、祈りを捧げる朝
- 7・8 教養や礼儀を身につける時間
- 9・10 友人と学び合う時間
- 11・12 一人ひとりが楽しむ放課後
- 13 香蘭の春
- 14 香蘭の夏
- 15 香蘭の秋
- 16 香蘭の冬
- 17・18 香蘭生を見守る学び舎
- 19・20 多彩なプログラム
- 21 香蘭女学校の歴史
- 22 制服／メッセージ



データブックを
ご覧いただけます。

有為な女性を育む香蘭女学校の教育プログラム



香蘭女学校は、建学の精神を絶えず時代に活かし、キリスト教の信仰にもとづいた人間教育と高度の教養教育をその基に据え、他者との出会いを大切にし、隣人として生きる「有為な女性」を育てることを目的としています。

「有為な女性」とは、自分や他の一人ひとりに神様から与えられた「賜物」の存在に気づき、一生をかけて大切に磨き、社会や人のために役立てていくことができる女性です。自らに与えられた「賜物」を活かして自分らしく生きていくためには、しなやかで豊かな感性と表現力・論理力・創造力を育むことが大切であるとわたしたちは考えます。香蘭女学校では、そのような女性を育てるために3つの柱から構成された教育プログラムを展開しています。





心を落ち着かせ、祈りを捧げる朝



*Remember your Creator in the days
of your youth.*

あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ。
(コヘレトの言葉 12:1)



校門から続く四季折々の花咲くアプローチ。小鳥のさえずりと友だちと語らう声。私たちに加えられた新しい一日の始まり。礼拝堂では、ともに聖書の言葉に耳を傾け、聖歌を歌い、祈りを捧げる。創立時から守り続ける自らと他者を想う大切な朝の日課です。



*You shall love your neighbor
as yourself.*

隣人を自分のように愛しなさい。
(マルコによる福音書 12:31)



ネイティブの先生とのコミュニケーションは、英語が好きになる時間。言葉を交わしながら自然と実用的なフレーズや正しい発音が身につきます。

立ち振る舞い。言葉づかい。細やかな心遣い。礼法で若い日に身に付けた所作は一生の宝物です。

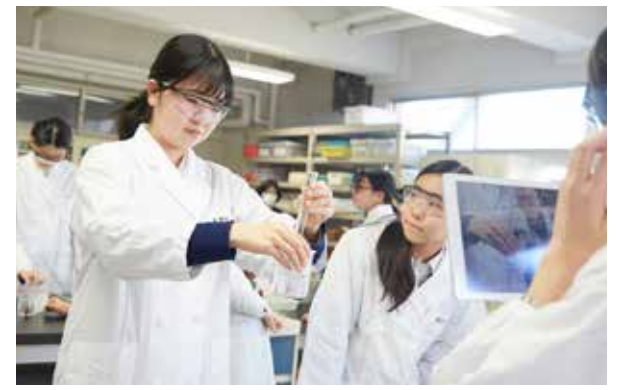


Ask, and it will be given to you.
 求めなさい、そうすれば与えられる。
 (マタイによる福音書 7:7)



グループ学習では、お互いの違いを越えて話し合い、納得解を導き出します。伝える力。聴く力。読み解く力。構成する力。表現する力。どれも大切な基礎力。

みんなで力をつけようとするとき、香蘭生はフォロワーシップに支えられたリーダーシップを経験します。



*Whatever you want men to do to you,
do also to them.*

人にしてもらいたいと思うことは何でも、
あなたがたも人にしなさい。
(マタイによる福音書 7:12)



放課後。思い思いに過ごせる場所、時間、活動があります。
高等科3年のBIG SISTERに勉強を教わる。図書室で好きなだけ本を読む。上級生と一緒に部活動に夢中になる。
みんなと時間を共にすることで自ずと心は開かれ、静かな時間は自分を大人へと成長させます。



香蘭の春



春。真新しい制服、入学式。BIG SISTERのサポートですぐに香蘭での生活に馴染んでいきます。新入生キャンプ。学年対抗の運動会。BIG SISTERに抱く憧憬。日々の経験が香蘭生としての思いやりや優しさを芽生えさせます。春の暖かさのような6年間の始まりです。



香蘭の夏



夏。北軽井沢の自然の中で過ごす山荘生活。広島平和学習では交流を通して同じ年代の異なる考え方や感じ方を吸収し、英国研修やカナダ研修（短期・中期・長期）では体験を通して異なる文化や言語を理解する。自分の世界が広がり、ひとまわり成長する季節です。



香蘭の秋

秋。大正時代に制定された創立記念日。130有余年の歴史を受け継いできたことへ感謝礼拝を捧げたあと、オーケストラによるコンサートが行われます。香蘭文化の花が咲き誇るヒルダ祭（文化祭）。明治時代から続く伝統のバザー。香蘭の秋は、文化と芸術の秋です。



香蘭の冬

冬。クリスマス礼拝で捧げるパージェント（降誕劇）と各学年の奉唱するクリスマスキャロル。香蘭生全員でイエスキリストのご降誕をお祝いします。季節は巡り、再びの春。高等科3年生は香蘭での学びと神様から与えられた「賜物」を抱いて、新たな一歩を踏み出します。



*You are the salt of the earth,
the light of the world.*

あなたがたは地の塩、世の光である。
(マタイによる福音書 5:13-14)



香蘭生のさざめく声が聞こえるレンガ校舎。冷たい井戸水が湧き、小川が流れ、緑生い茂る築山。放課後の憩いの場、生徒ホール。パティオのシンボルツリーを囲むベンチ。チェンバロの響くピカステス記念館。自然、校舎、キャンパス全体が居心地の良い空間です。



*Blessed are the peacemakers,
For they shall be called sons of God.*

平和を実現する人々は幸いである。
その人たちは神の子と呼ばれる。
(マタイによる福音書 5:9)



クワイヤーの歌声を
お聴きいただけます。



名誉ある東京都第一団のガールスカウト。奉唱するクワイヤー。
想いを行動に表すボランティア活動。他者を想い、ともに働くとき、
与えられた「賜物」は磨かれます。立教大学や聖路加国際
大学との連携プログラム。理科や社会の教科の校外研修。
殻を破るチャンスの扉をたたくのはあなたです。



沿革	
1873 明治6年	● 英国SPG派遣のA.C.ショー、W.B.ライトの両師、東京で伝道開始
1886 明治19年	● E.ピカステス主教来日
1887 明治20年	● E.ピカステス主教、今井壽道先生を初代校長として香蘭女学校設立願提出
1888 明治21年	● 麻布区永坂町1番地に校舎完成／4月開校、授業開始(修業年限4年・生徒数7名)
1892 明治25年	● 第1回卒業式(卒業生1名)
1899 明治32年	● 高等女学校令が公布されたが、キリスト教教育を貫くため各種学校に留まる
1903 明治36年	● 第1回バザー開催
1910 明治43年	● 11月16日 0時20分火災 1時間で校舎を焼失
1912 大正元年	● 9月12日 芝区白金360番地の新校舎に移転／9月19日 開校式挙行(9月19日を創立記念日に制定)
1920 大正9年	● 日本女子補導団(ガールガイド)創設、東京第一組結成／聖歌隊(クワイヤー)を創設
1941 昭和16年	● 3月21日 荏原区平塚7丁目1046(現校地)に移転／10月27日 校舎落成式
1943 昭和18年	● 帝都防衛城南部隊によって校舎の一部が接収され、軍が常駐
1945 昭和20年	● 香蘭女学校から香蘭高等女学校に改組／5月24日 夜の空襲により校舎焼失(8月15日 終戦)／九品仏浄真寺境内の建物を借り、12月より授業再開
1948 昭和23年	● 11月 九品仏浄真寺から現校地に戻る
1969 昭和44年	● 生徒会発足
1972 昭和47年	● 父母の会発足
1973 昭和48年	● 中高生徒会分離／ヒルダ祭運営実行委員会を組織／第1回ヒルダ祭開催
1988 昭和63年	● 香蘭女学校 創立100周年
2007 平成19年	● BIG SISTER制度を新たに開始
2011 平成23年	● 香蘭女学校維持後援会 設立
2018 平成30年	● 創立130周年を迎える
2020 令和2年	● ガールスカウトとクワイヤーが100周年を迎える



バザー
明治時代、校地に隣接した養老院のお年寄りに、ある生徒が漆掛けを編んで差し上げたことが始まりといわれています。その生徒の想いはいまでも受け継がれています。戦後の物のない苦しい時代でも開かれました。いつの時代も一人ひとりの働きと善意による収益を弱い立場に置かれた人々のために捧げています。

運動会
運動会の歴史は古く、明治時代から開催されていました。1972(昭和47)年から学年別対抗の競技に加え、1・4・6年と2・3・5年の二組に分かれた紅白戦が行われるようになりました。各学年が団結して互いに競い合いながらも、その健闘を称えるエール交換も伝統となっています。

創立記念日
1910(明治43)年、ジョサイア・コンドル設計の校舎を焼失。福澤諭吉門下の政財界人を中心となって再興に尽力し、芝区白金三光町に新校地を得ました。1912(大正元)年9月19日、新校舎落成式は英国国王御名代コンノート殿下をお迎えして挙行され、それを記念して同日が創立記念日と制定されました。

ガールスカウトとクワイヤー
英国国教会派遣の女性宣教師ミスM.グリンストリートによって、1920(大正9)年に日本女子補導団東京第一組(日本初のガールスカウト)が香蘭女学校内に創設されました。同年に発足した聖歌隊(クワイヤー)も戦争を経て1977(昭和52)年に再結成されました。2020(令和2)年、ともに創設100周年を迎えました。

ヒルダ祭
前身の「同交会」は、シェイクスピア英語劇や教科学習の研究発表を行う文化的な場として明治時代から続いてきました。生徒会成立を期に、1973(昭和48)年、同交会を発展的に解消。文化祭形式の「ヒルダ祭」へと移行しました。現在では、文化部や運動部、クラスや有志の参加する香蘭文化の発表の場となっています。



香蘭女学校 校長
鈴木 弘

「自分らしい人生」を送るために

あなたは、この世界でたった一人のかけがえのない存在です。その一人ひとりのあなたが「自分らしい人生」を送ることができれば、こんな幸せなことはありません。では、「自分らしい人生」とは何でしょうか。

聖書は、すべての人が神様から一人ひとり個性として「賜物」を与えられていると教えています。あなただけの「賜物」を大切に、社会や人のため、人とともに生きるために発揮することが、「自分らしく人生を生きる」ということです。

香蘭女学校で過ごす6年間は、あなたに与えられた「賜物」を発見し育むための時間です。多くの人は、自分の欠点はよく分かっている、長所についてはあまり意識することはありません。あなたはどうか。自然豊かな築山に囲まれたキャンパスで過ごし、あなたの長所や個性が伸びやかに育つことを一緒に喜ぶ先生方と学び、よろこびや悲しみを分かち合うことができる友人たちと出会う。そのような学校生活を通して、あなたに神様から与えられている「賜物」が確かにある、ということが必ず実感できるはずです。

また、自分の「賜物」に気づき大切にされることで、人の違いに対する向き合い方が変わることでしょう。他の人の「賜物」も大切に愛する心を持つことができれば、あなたの存在があなた以外の人の人生を豊かにできるようになります。他人や他者というより、「隣人」になることができます。

自分を生かし、人を生かすことで、より良い世の中をつくっていく——香蘭女学校と交わりを持つあなたには、そのような女性に育ってもらいたいと考えています。